



Rotary  2021-2022 年度



苅田ロータリークラブ

Weekly Journal 18

2022年4月15日
週報第1833号



本日のプログラム<第2137回例会>

会員卓話



みなさんこんにちは



本日は、この例会が始まる前に苅田町主催で【第1層つながり隊】という協議会に参加して参りました。内容としては全国的に高齢化が進む中で介護職員が69万人不足するという2040年を見据えて苅田町内でいかに支え合うかということを様々な立場からワークショップ形式で行われました。

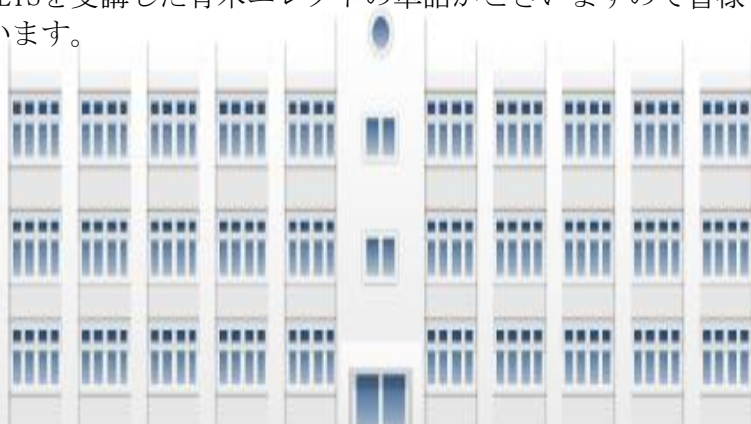
地域で活動する苅田ロータリーとしても地域の問題点、日本が抱える問題点として非常に勉強になりましたし、色々な団体がありながらも横のつながりが意外と少ないということに気づかされました。

さて、先日23日にウクライナのゼレンスキー大統領が日本の国会においてオンラインで演説を行い、ウクライナの現状と日本の支援に関する感謝の意を示していました。ロータリーに目を向けますとロータリー財団がウクライナでの救援活動のための寄付の窓口を設置しました。そして先週はみなさまに1人当たり1,000円のウクライナ支援をご了解いただきました。2700地区としては地区財団活動資金(DDF)と併せて1,000万円の支援を目標にしております。

先日、日本においては岸田首相がウクライナからの避難民の受け入れを表明しましたが、今後は日本においても様々な支援が広がると思いますが、ここからはMYロータリーの記事を引用させていただきます。ウクライナ危機に対するヨーロッパにおけるロータリーの活動をご紹介します。国連によると200万人以上(その大半は女性と子ども)が近隣諸国とヨーロッパ全域に避難し、ウクライナ国内の避難民も約100万人に上っています。難民に食糧、水、医療、シェルターを提供するため、欧州や世界各地のロータリークラブとローターアクトクラブが、周辺地域の会員とともに迅速に支援活動に乗り出しています。

そんな中で欧州全域のローターアクトのための多地区合同情報組織「欧州ローターアクト情報センター」は、難民とボランティアのための情報をまとめたサイト「United for Peace」(平和のための団結)を開設しました。このサイトには、難民が利用できる無料の鉄道、バス、航空機に関する情報に加え、必要とされている支援や物資、各国地域での支援方法のリストが掲載されています。サイトにはそのほかに、ウクライナ西部の都市リヴィウの病院や、各地で支援を行っているクラブ、地域の他団体のための募金の詳細も掲載されています。サイトは、国境で行き場をなくしている難民のための避難所をローターアクトが手配するのにも役立っています。難民の宿泊のために自宅を提供できるボランティアは、オンラインフォームから登録し、宿泊できる人数と期間を指定できます。当初、このサイトはウクライナを逃れるロータリー会員を援助するための取り組みとして開設されましたが、現在は、援助を申し出る欧州全土のロータリー会員によって利用されています。必要とされている物資と寄贈物資をつなげる役目を果たしているこのサイトは、緊急のニーズを満たす方法について10カ国、60人のチームがビデオ会議で協議してから48時間以内に立ち上げられたということです。

その他各国で様々な支援が行われておりますが詳しくはMYロータリーの他ロータリー会員が人道支援をどのように提供しているかに関する最新情報を、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムでご確認いただければと思います。さて、本日は先日PETSを受講した青木エレクトの卓話がございますので皆様と一緒に来年度の動きを勉強したいと思います。





2022年3月22日 PETSを受講しました。この講習は会長エレクトを対象とし、P組織の長・E選ぶ・T訓練・Sセミナーという略です。2022-2023 R I 会長ジェニファーE.

ジョーンズ氏はウィンザーにあるMedia Street Productions Inc.の創業者兼社長、ウィンザー大学理事長、ウィンザー・エセックス地域商工会議所の会頭後、奉仕活動が称えられ、YMCA Peace Medallion、Queen's Diamond Jubilee Medal受勲、カナダ人初ウェイン州立大学Pecemaker of the Year Award受賞、法学の博士号(LL. D.)を有します。

来期R I テーマ「イマジンロータリー」イマジンとは「想像する・思う・心に描く」、個人的見解は先見性あるロータリー活動と捉えています。我々荊田RCが所属する2700地区来期ガバナーは、西島英利氏でありテーマ「ロータリー継続活動と変化」、重点目標2022年7月時点会員数3700名目標。現在3111名会員に対し、来期約600名増員となり、2700地区63クラブで考えると、各クラブ退会者0名としても最低5名増員が必要となります。また、2023年まで女性会員割合30%にするR I 理事会目標達成に努力、新クラブ結成促進により新クラブ2クラブ設置となっています。また、地区一体による奉仕活動計画実施とし、昨年同様奉仕プロジェクト継続とし、来期も海岸清掃をおこなう予定です。さらに、クラブ戦略(CLP)の策定実施、クラブ会員維持方策と新会員育成方策の策定実施、DEIに対する推進活動、地区及び地区委員会等へローターアクト積極的活用、RLI計画的実施及びロータリー財団と米山奨学金に対し寄付目標達成、R I 事業へ積極的参加、国際大会出席促進となります。続いて地区委員会セミナー重点内容を抜粋します。荊田RC鈴木地区委員長による会員基盤向上委員会にて、オープンロータリー(具体的に大学で行われるオープンキャンパス同様)へ入会候補者を例会に招き、我々の活動を理解頂き入会促進する形となります。続いて、新発足DX推進委

員会では、昨今コロナ情勢影響によりSNS活用される中、更なる知識向上をDX委員会と通じ各クラブにて円滑活用促進を担う委員会です。続いて、ロータリー財団委員会活動計画は、ポリオプラス推進・地区補助金グローバル補助金審査申請サポート・R財団奨学生の輩出・平和フェロシップ・VTT(職業訓練チーム)推進・ロータリー奉仕デー・財団補助金利用審査サポート・地区財団セミナー一年2回開催とします。寄付促進とし年次基金150ドル/人ポリオ30ドル/人 合計180ドル/人 が目標です。近年寄付額は、年次基金約120ドル/人 ポリオ約150ドル/人です。続いて、米山奨学委員会は、普通寄付(各クラブの取り纏めによる)と特別寄付(任意)とあり、特別寄付推進を促進します。2020年実績は全国個人平均額15,516円に対し2700地区14,218円全国17位に位置します。来期2700地区目標は個人寄付17,000円を目指します。続いて、DLP(地区リーダーシッププラン)・CLP(クラブリーダーシッププラン)、DLPの目的は地区とクラブが連携し、ロータリー活動を強化・充実するためです。ガバナー補佐、地区研修リーダー、地区委員会、クラブ研修リーダーの明確な責任と任務を確認し相互協力・ガバナー補佐指導力の継続性(3年)・地区委員継続性(3~5年)・DLPに対応する地区内クラブのCLP推進とします。CLPの目的は意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにあり具体的な目的はロータリークラブの目的を達成するため、効果的クラブ管理の枠組みを提供しクラブ強化を図る事です。続いて、危機管理委員会も新発足されました。自然災害・パンデミック・ハラスメント・個人情報保護を対象とし、各クラブにて当年幹事を委員長とし理事を委員とした委員会を設置します。危機に際した場合、地区危機管理委員会へ報告し、具体的対処の指示を仰ぎます。

今回PETS受講にて様々な知識を頂きましたが、地区のサポートはもとより、基本は各クラブ活性により奉仕に繋がる事が根本であると認識しています。今後も皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

委嘱状 鈴木 公利会員



鈴木会員は 2022-2023 年度地区会員基盤向上委員会委員長を引き受けて頂いており、地区から委嘱状が届いています。荊田ロータリークラブから地区で活躍して頂き、感謝しています。一年間、よろしくお祈りします。



ニコニコBOX

親睦委員長 青木 政憲

- 渡邊 剛 青木エレクト PETS 卓話お疲れ様でした。
- 松本 聡 青木エレクト分かりやすい PETS 報告ありがとうございました。
昨日仕事で大きな成果を出すことが出来ました。これからも頑張ります。
- 鈴木 公利 本年、初の例会出席です。誕生祝いありがとうございました。年度末で還暦を迎えます。
- 青木 政憲 前回のお弁当美味しかったです。高山さんありがとう。
- 片岡 孝市 青木さん PETS 報告ありがとうございました。
- 山口 勝弘 誕生日祝いありがとうございました。
- 國永 修一 久しぶりの出席ですが早退します。



荻田RC予定表

日	内容	場所
4/22	会員卓話	三原文化会館
4/29	休会	
5/6	休会	
5/13	青少年奉仕卓話	三原文化会館
5/20	外来卓話	三原文化会館

- <2020~2021 年度 R I > 会長 : シュカール・メータ
- <第 2700 地区> ガバナー : 貫 正義
- <荻田ロータリークラブ> 会長 : 渡邊 剛
幹事 : 松本 聡
SAA : 中尾 則子
- <創立> 昭和 51 年 6 月 28 日
- <例会> 毎週金曜日 12:30~ パンジープラザ TEL 093-434-3641
- <事務局> 荻田町京町 2-3-1 TEL 093-434-1488 FAX 093-434-6543
e-mail kanda-rc@f4.dion.ne.jp URL:www.kanda-rc.com
- IT・週報委員会委員長:竹部 武男・高城 雅春・長江 三郎・
原田 雄幸・太田 春吉・角田 成弘

幹事報告

ウクライナ支援、1000 円の寄付ありがとうございました。この寄付金はガバナー事務所のロータリー災害救援基金の窓口を通してウクライナに送られます。ご協力ありがとうございました。

地区大会の記念品も届いています。先にお配りしたのはこの公式記念バッチを地区大会につけてきてほしいためだそうです。よろしくお願ひします。



第 2136 回例会記録 夜間例会



4 月 1 日松本商店にて夜間例会が行われました。コロナのまん延防止等重点措置があげて初めての夜間例会でした。体調が良くなり久しぶりの原田会員の参加に喜びの会となりました。